

岐阜新聞

発行所 岐阜新聞社
(株式会社アットマーク内)
〒511-5132 長良郡恵庭市
徳ノ道町東端 942-1
TEL 0920-48-1860
FAX 0920-48-1265
販売料 1ヵ月 1,320円(税込)
毎週金曜日発行
代表 山内 武志
編集長 高瀬 正徳

小中高

個別指導学習塾



密着セミナー
0920-47-5530

どうぶつ基金病院と岐阜が閉院

4千頭を手術 佐上理事長「第2章の始まり」

昨年4月から野良猫の不良去勢手術を行ってきた「どうぶつ基金病院(岐阜)」(岐阜市河辺町)が19日、閉院した。同病院は過酷な環境で生きる野良猫を減らすとともに殺処分ゼロを目指すため、昨年2月に市とエンゲージメントパートナーシップを締結している公益財団法人どうぶつ基金(佐上邦久理事長、兵庫県芦屋市)が獣医師を派遣していた。1年間の手術頭数は399頭(猫)に上った。



岐阜市長から感謝状を受け佐上理事長(右)

「どうぶつ基金は福島の協力病院で受ける無償不良去勢手術を岐阜市に配布したい」と更なる協力を表明。「閉院式だが第2章の始まり。最後の最後まで殺処分ゼロ、そして世界で最も前に優しい野良猫の島になつていなければならぬ」と述べた。

手術した野良猫の長井和樹さん(43)も「昨日、一昨日に手術した猫もすでに妊娠している子猫がかなりの数いたので、少しずつでも繁殖していくことが大切だと思う」と述べた。

岐阜市長は協力に感謝を述べた上で「また元に戻ってしまえば意味がない。主にきょうから第3章だと思う。今後持続できるような行政の体制も考えていきたいし、この一年で市民の意識も変わったので、(適正飼養など)普及啓発とSDGsの成功事例としてPRしていきたい」と述べ、佐上理事長に感謝状を贈った。

式的前に行われた佐上理事長との対談で、佐上理事長が手術のために猫を移送するボランティアに対するフェリー代の支援を求めたことに對し、岐阜市長は「自助、共助を後押しするのが公助、行政の仕事。パートナー企業と来共創基金みたいなのを作って色々な取り組みに充てていこうと想っている。検討したい」とした。

野良猫の飼養など、手術を後援でサポートしてきたボランティア団体「恵庭島わんにゃんお守り隊299」(松嶋純子代表)は同病院の開院前から無料チケットを使うなど、海外で野良猫の手術を推進。これまでに関わった野良猫の手術は4338頭に上った。

松嶋代表(61)は